

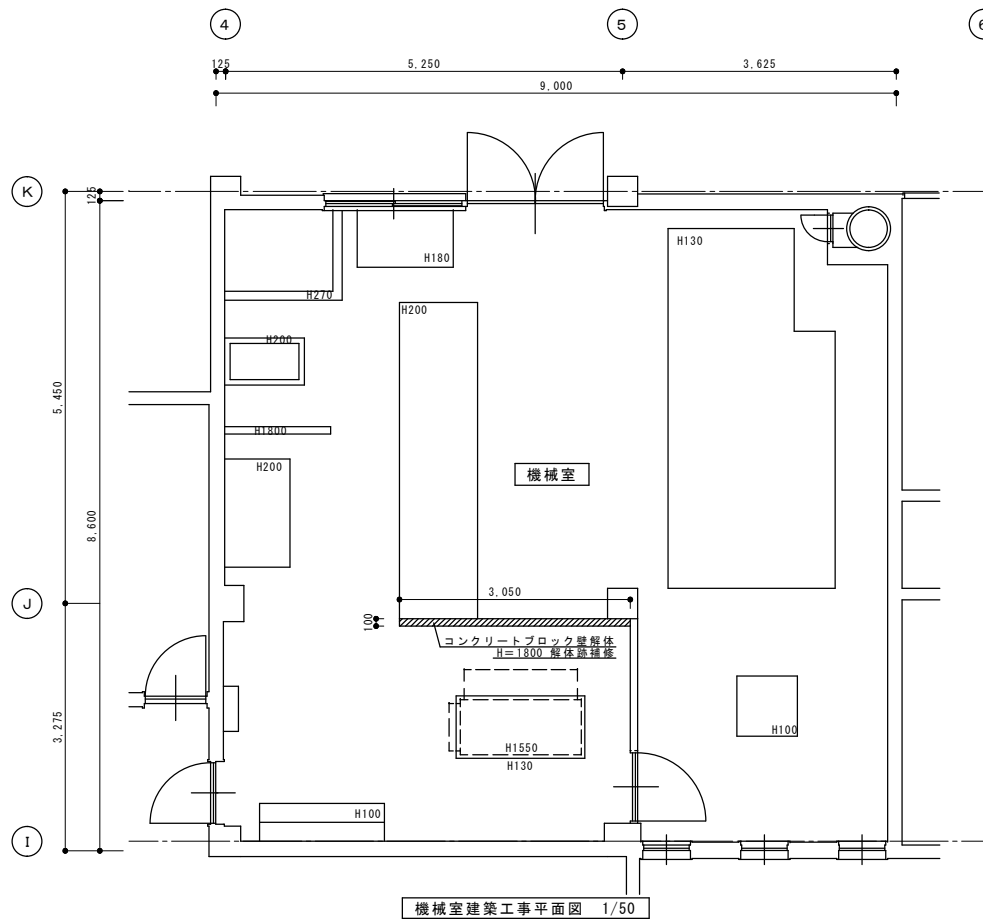
志摩特別養護老人ホーム才庭寮

非常用電源設備改修工事

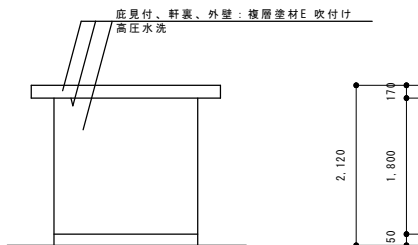
図面リスト

- 00 表紙 図面リスト
- A-01 建築工事特記仕様書
- A-02 付近見取図 電気室・発電機配置図
- A-03 機械室 電気室 発電機基礎図
- E-01 特記仕様書(電気) 付近見取図 撤去図
- E-02 発電機図
- E-03 単線結線図 系統図
- E-04 1階配線図
- E-05 R階配線図
- E-06 単線結線図 ポンプ室詳細図

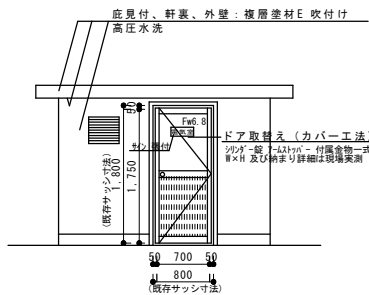
Ⅱ 建築改修工事仕様	
1. 共通仕様 (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁業務部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版【平成28年3月制定】」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁業務部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成28年版【平成28年3月制定】」（以下「標準仕様書」という。）による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。 (3) 本特記仕様書の表記 ① 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。 ② 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ③ 特記事項に記載の〔・・・〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ④ 特記事項に記載の（・・・）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 ⑤ 東海地震に係る地震対策地帯における工事については「大規模地震発生時特別措置法」による注意情報が発せられた場合、実注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第2.6条（協議の措置）によって処理されるものとする。	
工事場所：三重県志摩市阿児町神明1537番地1	
章	項 目 特 記 事 項
①一般共通事項	1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。 ・建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）国土交通省大臣官庁官庁業務部 2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。 建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官庁官庁業務部整備課 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（V ₀ m/s） 地表面粗度区分（ ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（ ） 〔1.4.1〕〔1.4.1〕 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の i から iv）を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 iv) i) の材料を使用した作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の i) 又は ii) に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の iii) 又は iv) に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
2適用区分	〔1.4.1〕〔1.4.1〕 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の i から iv）を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 iv) i) の材料を使用した作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の i) 又は ii) に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の iii) 又は iv) に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③環境への配慮	〔1.4.1〕〔1.4.1〕 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の i から iv）を満たすものとする。 i) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ii) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 iii) 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 iv) i) の材料を使用した作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の i) 又は ii) に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の iii) 又は iv) に該当する材料を指す。 i) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ii) 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 iii) 建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 iv) 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
④材料の品質等	〔1.4.1〕〔1.4.1〕 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承認を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料の製造業者等は、次の i) から vi) の事項を満たすものとし、この証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承認の承諾を受けた場合にはこの限りではない。 i) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ii) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 iii) 安定的な供給が可能であること。 iv) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 v) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 vi) 販売、保守等の営業体制を整えていること。
⑤完成写真	・撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者 撮影箇所数（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所 ・電子データ（JPEFフルカラー、圧縮率1/4程度）1部 画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上画像補正を行ったもの ・カラー印刷紙キャビネット版（ ）枚 ・四つ切（ ）枚 ・アルミ額縁 ・半切（ ）枚 ・アルミ額縁 ○撮影者：任意 撮影箇所数（ ）箇所 ・電子データ（JPEFフルカラー）1部 画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上 ○カラー印刷紙キャビネット版（監督職員の指示による）枚
⑥既存工事	「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、両方ガイドラインの別表1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における(2)の手すり設置方式又は(3)の手すり先行専用設置方式により行う。 内部足場を設置する（・自立、足場板等） ・設置しない 外部足場を設置する（・設置しない 防護シートを設置する ・設置しない ・材料、撤去材等の運搬方法 種類（・A種・B種・C種・D種・E種） C種：利用可能なエレベーター（ ） D種：利用可能な階段（ ） 〔2.2.1〕〔表2.2.1〕 2 鉄筋 SD295A 設計基準強度 [8.11.1] ○18N/mm ² スラング [8.11.1] ○15cm又は18cm
⑦生コンクリート	〔2.2.1〕〔表2.2.1〕 2 鉄筋 SD295A 設計基準強度 [8.11.1] ○18N/mm ² スラング [8.11.1] ○15cm又は18cm
⑧シーリング	〔3.7.2、3.7.8〕 シーリング改修工法の種類 ○シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。 施工箇所 シーリング材の種類（記号） 建具回り PS-2 シーリング材の目寸法 ・改修標準仕様書3.7.3(a)(1)～(3)による
⑨所要量の確認	〔4.6.2〕〔表4.6.1〕 工程ごとの所要量の確認 ・改修標準仕様書表4.6.1による
⑩既存塗装等の除去、下地調整及び下地調整	〔4.6.3〕 工法 処理範囲 下地の修繕 ・サンダー工法 ・図示 ・ひび割れ部改修工法 ・高圧水洗浄工法 ・図示 ・浮き部改修工法 ・薬液浸透剥離工法 ・図示 ・欠損部改修工法 ・水洗い工法 ・図示
⑪下地調整塗材	〔4.6.3〕 ○下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル
⑫仕上塗材仕上げ	〔4.1.5〕〔4.2.2〕〔4.6.5〕 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ・規制対象外 新規仕上塗材の種類 種類 呼び名 防火材料 仕上げる形状及び工法等 ○外装薄塗り E ・砂壁状 仕上塗材 ・可とう形外装薄塗り E ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り） S I ・さざ波状 ○外装薄塗り E ・円筒状 ・可とう形外装薄塗り E ・凹凸状（・吹付け・こて塗り） 防水形外装薄塗り E ・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り） ・外装薄塗り S ・砂壁状じゅらく ・意匠壁状じゅらく
⑬改修工法	〔5.1.3〕 建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ○アルミニウム製建具 ○ ・ ・樹脂製建具 ・ ・鋼製建具 ・外部 ・ 建具 ・内部 ・
⑭アルミニウム製建具	〔5.2.2～5〕〔表5.2.2〕 性能等級 外部に面する建具 ○A種（建具符号：・建具表による） ・B種（建具符号：・建具表による） ・C種（建具符号：・建具表による） 枠の見込み寸法 ・建具表による ○70 表面処理 外部に面する建具 ○1種 ・B-2種 ・ 皮膚等の種類（・改修標準仕様書5.2.2による） 着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー）
⑮ガラス	○網入り型ガラス Fw-6.8



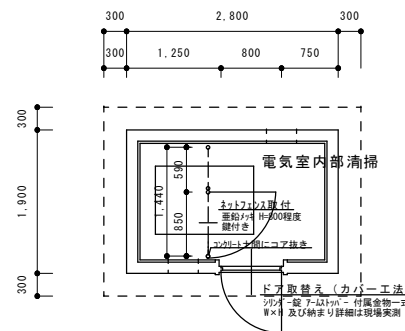
機械室建築工事平面図 1/50



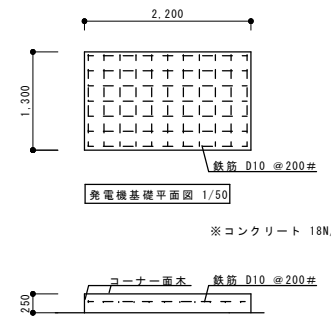
電気室南立面図 1/50



電気室東立面図 1/50

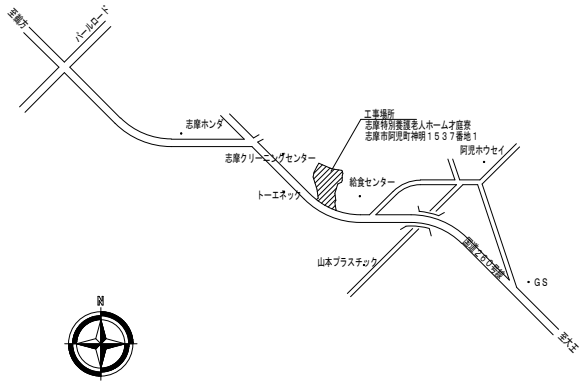


電気室平面図 1/50

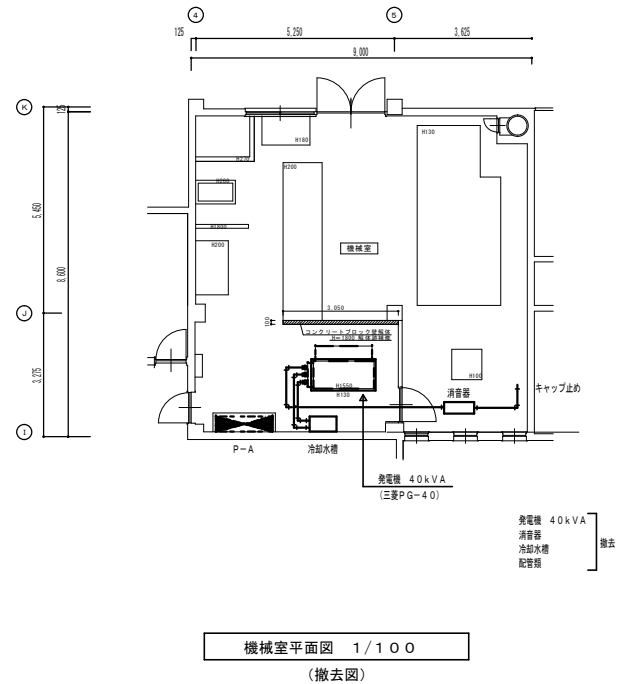


発電機基礎断面図 1/50

電気設備工事特記仕様書	
1. 施工基準	図面及び特記仕様書に記載のない事項については以下による。 *国土交通省大臣官庁監修 建築基準 「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成22年版」 「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成22年版」 「電気設備工事監理指針平成19年版」 *国土交通省国土技術政策総合研究所及び独立行政法人建築研究所監修 「建築設備前設計・施工指針（2005年版）」 *電気設備に関する技術基準を定める省令（電気設備技術基準） *所轄電力供給管内規 *消防関係法規（所轄署指導要綱含む） *その他、関連法規、関係諸基準
2. 一般事項	工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督職員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。 設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図書のとおりに施工することで将来不具合が発生しうると予想される場合については、その都度、監督職員と協議すること。なお設計図書のとおりに施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を検討すること。 他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。なお調整不足による意図的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督職員の指示により手直し施工を行うこと。



付近見取り図



機械室平面図 1/100
(撤去図)

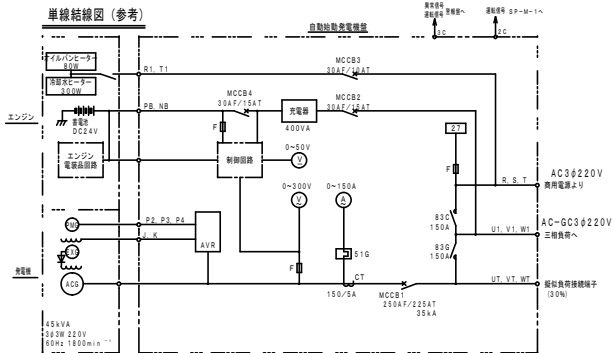
仕 様 (参考)

諸 元		仕 様 書	
形 式	即時長時間形 (PX-50MSR (BB))		
冷 却 方 式	ラジエータ冷却式		
周 波 数	60Hz		
定 格 出 力	発電機: 45 kVA エンジン: 48 kW		
電 圧	220 V		
回 路 方 式	3相3線式		
力 率	0. 8 (遅れ)		
形 式	自己通風方式, H種絶縁		
保 護 方 式	開放保護形		
電 磁 方 式	ブラシレス励磁式		
極 数	4極		
回 転 速 度	1800min ⁻¹		
形 名	4D33		
エ 形 式	4サイクル, 水冷, 直列		
燃 焼 室 形 式	直接噴射式		
始 動 方 式	セルモータ始動式		
燃 料 種 類	軽油		
タンク容量	199 L (搭載)		
燃 料 消 費 量	11. 5 L/h		
バッテリー容量	REH-40 (DC24V-40Ah)		
充 電 方 式	自動充電方式		
用 途	非常用予備電源 (消防認定品)		
規 格	JIS, JEC, JEM, 電気設備技術基準, 消防法		
設 置 場 所	屋外設置式		
使用 条件	周囲温度: -5~40℃ 湿度: 相対湿度85%まで 高 度: 最高150mまで		
運 転 方 式	シーケンス制御による全自動運転方式 壁面スイッチによる手動運転方式併用, 定期保守運転付		
始 動 時 間	停電より負荷投入まで10秒以内		
発電機盤形式	閉鎖形 (搭載)		
発電機盤構成	自動始動装置, 保護装置, 励磁装置, 主回路開閉器, 計測装置, 自動充電器		
計器類発電機側	交流電流計, 交流電圧計, 直流電圧計		
計器類エンジン側	潤滑油温度計, 潤滑油圧力計, 回転速度計, 冷却水出口温度計		
騒 音	機側1m周囲4点平均において約75 dB (A)		
装 置 質 量	静荷重: 約1750 kg, 運転時総荷重: 約1940 kg		
そ の 他	キューピクル〜溶融亜鉛メッキ鋼板使用, ベース〜溶融亜鉛メッキ処理		

保 護 ・ 警 報

項 目	動 作 状 態	警 報	エンジン停止	遮断機リブ	遠方出力
油 圧 低 下	78±20kPa以下	○	○	○	故障一括
水 温 上 昇	101±2℃ 以上	○	○	○	
始 動 失 速	始動失敗	○	○	○	
過 回 転	115% 以上	○	○	○	
過 電 流	118±5% 以上	○	○	○	
燃料タンク最低油量	燃料タンク下より3. 5±0. 5cm以下	○	○	○	
緊急停止	緊急停止押ボタン押した時	○	○	○	
充電器故障	充電器が故障した場合	○	○	○	

単線結線図 (参考)



記号	名 称	記号	名 称	記号	名 称
ACG	三相交流発電機	MCCB1	主回路用遮断器	F	ヒューズ
EXG	励磁用発電機	MCCB3	常時予熱用遮断器	27	充電機出力
AVR	自動電圧調整器	MCCB2	充電器入力用遮断器	83 C	電源切替用電磁接触器 (商用)
V	交流電圧計	MCCB4	充電器出力用遮断器	83 G	電源切替用電磁接触器 (発電機)
V	直流電圧計	SI G	サーマルリレー		
A	交流電流計	CT	計器用変流器		

非常用発電装置 出力計算書

様式 - 1 <最大最終>

特 性 等	
(1)	対象負荷機器 様式 - 2 の通り
(2)	発電機 特性 KG3 = 1. 500 KG4 = 0. 150 x d' g = 0. 250 Δ E = 0. 250 r g = 0. 823
(3)	原動機 特性 ε = 1. 000 r = 1. 100 a = 0. 250
(4)	負荷機器 D = 1. 000 d = 1. 000

様式 - 2 <最大最終>

自家発電設備出力計算シート (負荷表)																			
番号	グループ	負荷機器名称	消防 設備	記号	台数	機器 入出力 kW, kVA	出力 mi (kW)	制 動 方 式	単相負荷 (KW)			分負荷 相当 出力 Mp (kW)	M2の 選定 (A)	M3の 選定 (B)	M' 2の 選定 (C)	M' 3の 選定 (D)			
									R-S	S-T	T-R								
1	単	スプリンクラー設備	F-L	M.L.T	1	11. 00	11. 00	Y	0. 00	0. 00	0. 00	11. 00	61. 14	44. 97	14. 75	11. 52			
算出									負荷出力合計値 K = 11. 00			選定	(A) の値 が最大と なる mi=M2 =11. 00						
									0. 00				(B) の値 が最大と なる mi=M3 =11. 00						
									0. 00				(C) の値 が最大と なる mi=M' 2 =11. 00						
									0. 00				(D) の値 が最大と なる mi=M' 3 =11. 00						
									最大値: A = 0. 00 次の値: B = 0. 00 最小値: C = 0. 00										
(A) : $\frac{1}{2} \times \sqrt{2} \times m \times i$ (B) : $\frac{1}{2} \times \sqrt{2} \times m - b \div (\frac{1}{2} \times b \times \cos \theta) \times m i$ (C) : $\frac{1}{2} \times \sqrt{2} \times m \times \cos \theta - (c - a) \times d \div (b \times \sin i)$ (D) : $\frac{1}{2} \times (\frac{1}{2} \times \sqrt{2} \times m \times \cos \theta - d \div \theta) \times m i$																			

(A) :=ks/Z' m xmi (B) :=[ks/Z' m-b/ (sbx cos θb) xmi (C) :=[ks/Z' mcos θs- (ε-a) x d/ (tb) xmi (D) :=(ks/Z' mcos θs-d/ (tb) xmi

様式 - 3 <最大最終>

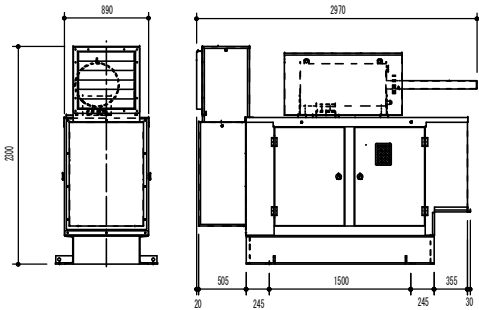
自家発電設備出力計算シート (発電機)	
RG1	$= \frac{1}{\Delta P} \times D \times S f \times \frac{1}{\cos \theta g} = \frac{1}{0. 902} \times 1 \times 1 \times \frac{1}{0. 8} = 1. 388$ $\Delta P = A + B - 2C = 0 + 0 - 2 \times 0 = 0$ $u = \frac{(A-C)}{\Delta P} = \frac{(0-0)}{0} = 0$ $S i = \sqrt{1 + \frac{\Delta P}{K} + \left(\frac{\Delta P}{K} \right)^2 \times (1-3u+3u^2)}$ $= \sqrt{1 + \frac{0}{11. 00} + \left(\frac{0}{11. 00} \right)^2 \times (1-3 \times 1 + 3 \times 1^2)} = 1$
RG2	$\text{エレベーター} = \frac{(1-\Delta E)}{\Delta E} \times x d' g \times \frac{ks}{Z' m} \times \frac{M2}{K}$ $\text{無 (0)} = \frac{(1-0. 25)}{0. 25} \times 0. 250 \times \frac{0. 667}{0. 12} \times \frac{11. 00}{11. 00} = 4. 169$
RG3	$= \frac{1}{KG3} \times \left\{ \frac{d}{(sbx \cos \theta b)} \times (1 - \frac{M3}{K}) + \frac{ks}{Z' m} \times \frac{M3}{K} \right\}$ $= \frac{0. 880}{1. 50} \times \left\{ \frac{1}{(0. 85 \times 0. 8)} \times (1 - \frac{11. 00}{11. 00}) + \frac{0. 667}{0. 12} \times \frac{11. 00}{11. 00} \right\}$ $= 3. 261$
RG4	$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{KG4} \times \sqrt{(H-RAF)^2 + \left(\frac{A1}{\eta \times \cos \theta f} + \frac{B1}{\eta \times \cos \theta f} - 2x \frac{C1}{\eta \times \cos \theta f} \right)^2 \times (1-3u+3u^2)}$ $\text{※ } H = hb \times \sqrt{\left\{ \frac{1}{\eta \times \cos \theta f} \right\} + \left\{ \frac{1}{\eta \times \cos \theta f} \right\} \times hph}$ $= \frac{1}{11. 00} \times \frac{1}{0. 15} \times \sqrt{(0-0)^2 + (0)^2 \times (1-3 \times 1 + 3 \times 1^2)}$ $= 0. 000$
RG	$= RG < 2 > = 4. 169$ $RG1, RG2, RG3, RG4 \text{ のうち最大値}$
発電機計算出力 G'	$G' = RG \times K = 4. 169 \times 11. 00 = 45. 86 (KVA)$
発電機定格出力 G	$G = 45. 0 (KVA)$

備 考: GはG'の値の95%以上の値とする。

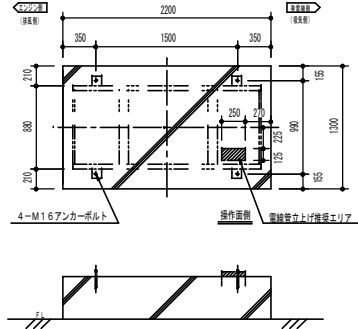
様式 - 4 <最大最終>

自家発電設備出力計算シート (原動機, 整合)	
RE1	$= \frac{1}{\eta L} \times D \times \left(\frac{1}{\eta g} + \frac{1}{0. 902} \right) \times 1 \times \left(\frac{1}{0. 823} \right) = 1. 347$
RE2	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{1 + v2}{\eta g} \times \left\{ (\varepsilon - a) \times \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{M' 2}{K} \right) + \frac{ks}{Z' m} \times \cos \theta s \times \frac{M' 2}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1} \times \frac{0. 760}{0. 782} \times \left\{ (1 - 0. 25) \times \frac{1}{0. 85} \times (1 - \frac{11. 00}{11. 00}) + \frac{0. 667}{0. 12} \times 0. 4 \times \frac{11. 00}{11. 00} \right\}$ $= 2. 196$
RE3	$= \frac{1}{\varepsilon} \times \frac{1 + v3}{\eta g} \times \left\{ \frac{d}{\eta b} \times \left(1 - \frac{M' 3}{K} \right) + \frac{ks}{Z' m} \times \cos \theta s \times \frac{M' 3}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1} \times \frac{0. 760}{0. 782} \times \left\{ \frac{1}{0. 850} \times (1 - \frac{11. 00}{11. 00}) + \frac{0. 667}{0. 120} \times 0. 400 \times \frac{11. 00}{11. 00} \right\}$ $= 1. 965$
RE	$= RE < 2 > = 2. 162$ $RE1, RE2, RE3 \text{ のうち最大値}$
原動機計算出力 E'	$E' = RE \times K = 2. 162 \times 11. 00 = 23. 78 (KW)$
整 合	$MR' = \frac{E'}{G \times \cos \theta g} \times \eta g = \frac{23. 78}{45. 0 \times 0. 800} \times 0. 823 = 0. 543$
原動機定格出力 E	$MR' = 0. 543 (MR < 1. 0 \text{ のため } MR = 1. 0 \text{ とし } E = \text{左記}) \quad E = 43. 75 (KW) \quad E = 48. 0 (KW)$ $MR = 1. 097$
自家発電設備の出力	$G = 45. 0 \text{ kVA} \quad \text{力率} = 0. 8 \quad E = 48. 0 (KW) \quad 65. 3 (PS) \quad \text{ディーゼル機関 (普通形)}$

備 考: EはE'又はE*の値以上の値とする。



ディーゼル発電装置外形図 (参考)



基礎図 (参考)

松森建築設計事務所

三重県志摩市阿児町崎方3368-5

一級建築士
設備設計一級建築士
松森 正晴

工 事 名 称

図 面 名 称

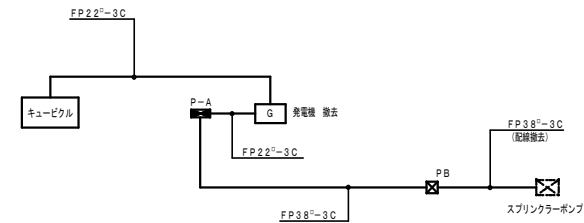
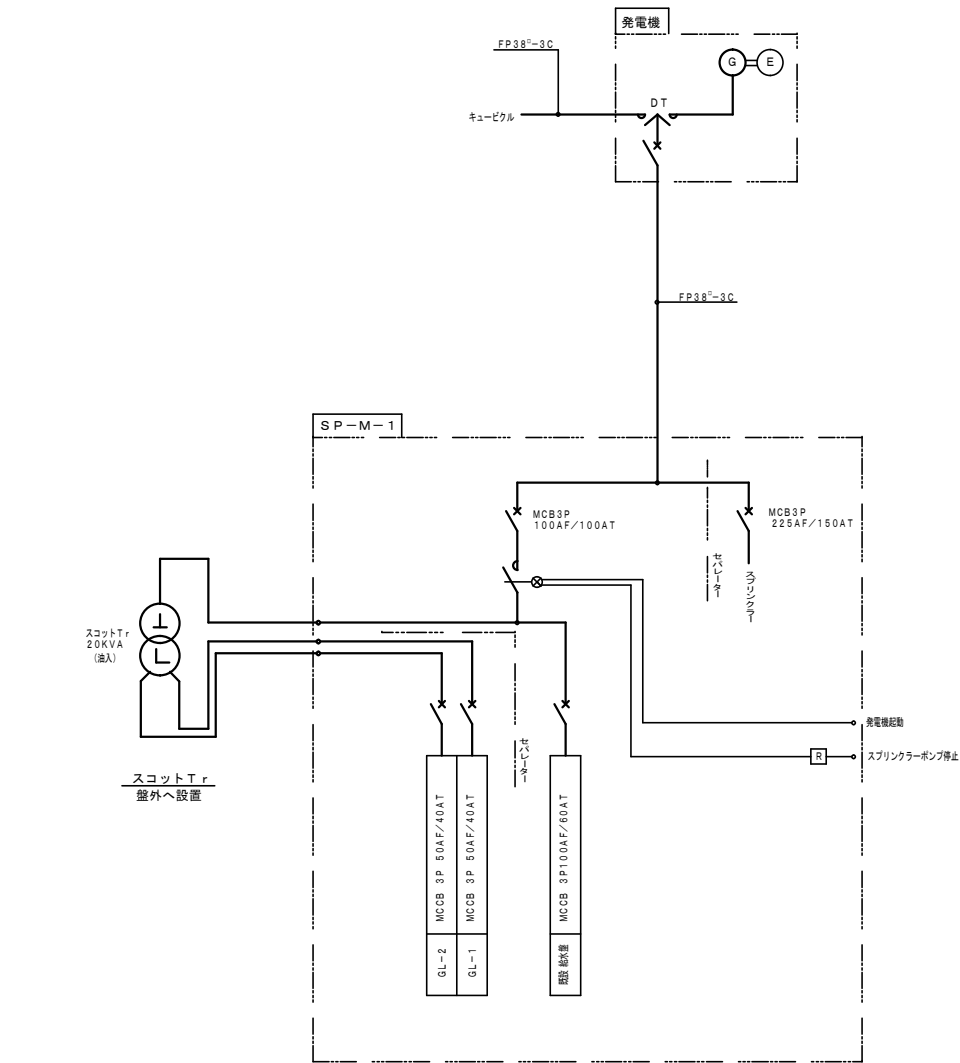
志摩特別養護老人ホーム才原非常用電源設備改修工事

発電機図

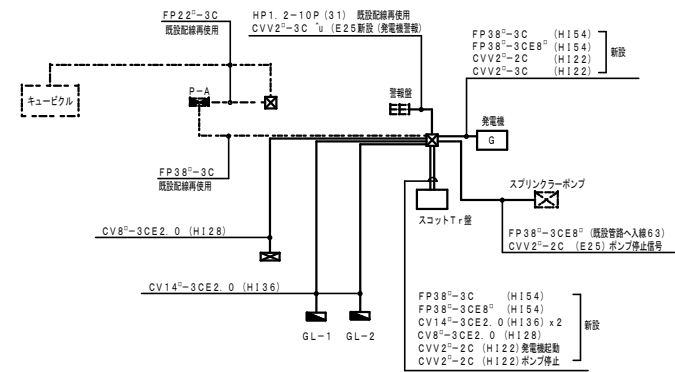
日付

縮尺

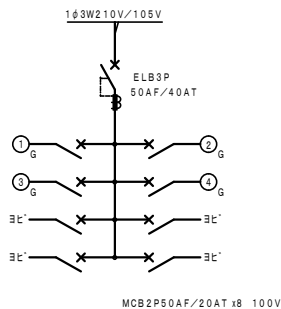
E-02



系統図 (改修前)



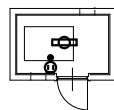
系統図 (改修後)



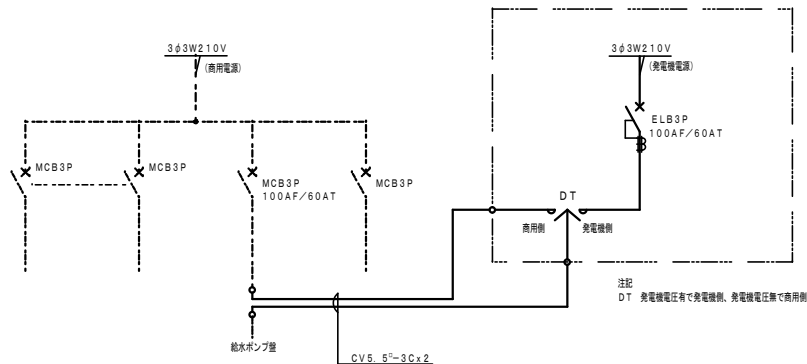
G	L	-	1
G	L	-	2

住宅分電盤 (カバー付)
2 面

電気室平面図 1/100
(撤去図)

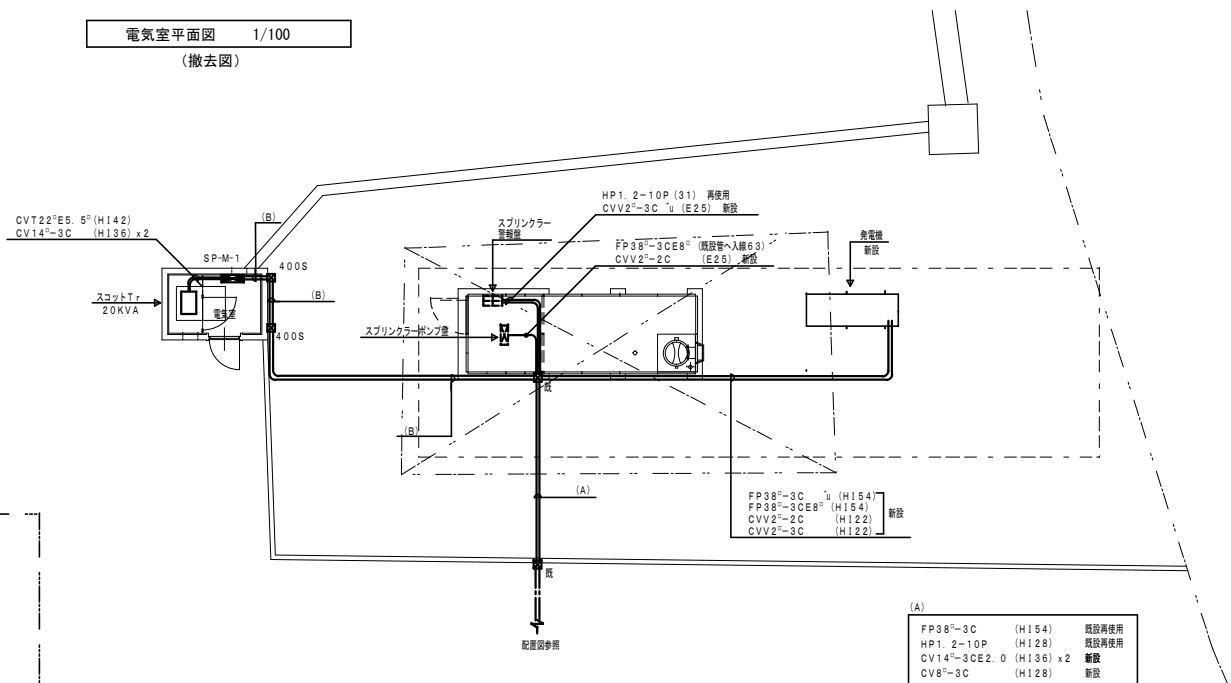


撤去
蛍光灯 FL20Wx1 -1
スイッチ 1連 -1
コンセント -1
・撤去時にカバープレート取付



P - A
(既設動力盤)

切替盤 (新設)
(給水ポンプ用)



FP38"-3C	(H154)	既設再使用
HP1.2-10P	(H128)	既設再使用
CV14"-3CE2.0	(H136) x2	新設
CV8"-3C	(H128)	新設

FP38"-3C	(H154)	新設
FP38"-3CE8"	(H154)	新設
CV8"-3C	(H128)	新設
CV14"-3CE2.0	(H136) x2	新設
CVV2"-2C	(H122) x2	新設

注記
※ 既設プルボックス
※ プルボックスSUS.WP 400x400x300 セパレーター付
400S

ポンプ室詳細図 1/100
(改修後)